

# ガーデン栽培植物（ハーブ）の利用

園芸デザイン部 2年 藤田ひなた 伴 琉平 田代花音

園芸デザイン部では、1・2年草・多年草・宿根草・小低木の花木等を使用してガーデンを制作している。これらの植物の中で、果実をつけるものや香りのする植物に興味を持ち、その利用についての研究を開始した。



使用している植物 ■ はハーブとして利用

キャットニップ ■ ホーリーバジル

セージ(ビックブルー) ■ ポリジ

サルビア(ファリナセア) ■ アップルミント

■ レモンバーム ■ マウンテンミント

■ シナモンバジル

上の写真は、制作管理したガーデンである。このガーデンは、青色の花を咲かせる植物を中心に植栽管理したハーブのブルーガーデンである（■ の植物は、ハーブに分類される）。これらのガーデン植物（ハーブ）を有効利用することを目的にガーデンの管理を行った。ポタジユ的な考えで、ガーデニングを行いながらハーブの利用を行った。

\*ハーブガーデン：ハーブガーデンとは、ハーブで構成された花壇や庭のことである。香草、薬草であるハーブを植えることで、その収穫と利用、あるいは草姿、花、香りを楽しむ。西洋では中世に修道院でハーブを中心にした庭を作りはじめているが、これは医薬用の植物栽培という実用面での側面があった。ハーブ類で庭を構成すると花が少なく緑色が多くなる傾向があるため、現在では草木の高さや、大きさ、遠近法などで変化をつけ、カラーリーフなどが多用される。

\*ポタジユ：家庭菜園を意味するフランス語であり、果樹、野菜、ハーブ、草花などを混植した実用と観賞の両目的を兼ね備えた庭である。実用的な機能があるが、健康にも有益であり、動植物の生物多様性の維持にも貢献する庭である。

## 〔ハーブティーの製造〕

今回は、一般的なハーブの利用方法として、ハーブティー作りを行った。

実施 2021年1月25日

講師 井上典子さん（Nextea 主催・毎日文化センター講師）を招き、ハーブティーの作り方・楽しみ方についての講習を受けた。栽培・乾燥処理したハーブを用いた。



配合実習材料



各ハーブティの特徴を調べる



ハーブティー配合実習

## 〔結果〕

栽培しているハーブの内ハーブティーに利用可能な5種類を選び、配合実験をおこなった。結果、右表の配合で、オリジナルハーブティーを作った。

材料（ハーブ）	配合量
ローズヒップ	3
レモンバーム	1
レモンタイム	1
ローゼル	3
レモングラス	2

## 〔今後の課題〕

- ① ハーブティーに利用できる植物を使用した、ハーブガーデン（ポタジユ）のモデルを作る。
- ② 利用されていない植物を利用して、オリジナルのハーブティーを作る。例 レモンマリーゴールド（写真）。晩秋に咲く。ハーブとしては未利用。

